

「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づく
中堅教諭等資質向上研修の開発に関する調査研究

調査の概要

◆課題認識

- 学校の教育活動を中心となって推進する中堅教諭等の研修の充実が喫緊の課題
- 新たな法定研修としての研修内容の整備
- 「働き方改革」を意図した研修方法の確立

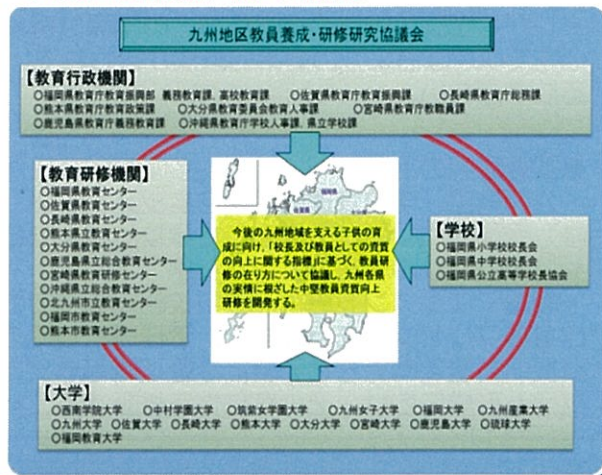
◆調査研究の目的

- 今、求められる資質能力の向上を目指す中堅教諭等資質向上研修モデルの策定

◆調査研究の方法

- 九州各県の教育委員会及び大学等との連携で発足した「九州地区教員養成・研修研究協議会」（右図参照）における協議を基に調査事項を検討

◆調査連携体制の構築



取組のポイント・成果

◆中堅教諭等資質向上研修モデル

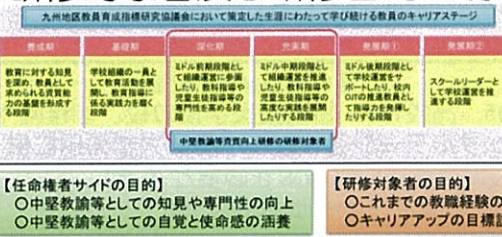
①研修の策定に係る課題の明確化

研修時期・期間に関する懸念事項	研修の評価・履歴に関する懸念事項
○教員の多忙化への対応 →既存の10年経過後研修のように1年間で実施することは妥当か？ ○研修時期・期間の弾力化に関する懸念事項 →中堅教諭等資質向上研修の研修対象者の選定（希望）について →校内において複数の研修対象者が生まれた場合の対応について	○多様な研修への対応 →自主研修を含む研修の評価の在り方 ○研修履歴の作成と管理 →中堅教諭等資質向上研修に関連する研修の明示化 →研修履歴作成の主体者及び管理者の明確化 →研修履歴に係る情報の共有化（教委、学校（管理職）、個人）
中堅教諭等資質向上研修に係る懸念事項	
研修内容に関する懸念事項	研修場所・リソースに関する懸念事項
○教員の専門性向上、ニーズへの対応 →既存の10年経過後研修の研修内容で対応は可能か？ →職能に応じた研修等までこまごま反映できるか？ →既存の10年経過後研修を中堅教諭等資質向上研修の一部として位置づけることの可能性	○大学等外部機関との連携の在り方 →高度に専門的な研修を実現するための連携の在り方は？ ○研修教材の作成と効果的な研修モデル →高年齢研修の大人化に伴う、研修教材の作成・整備について →集合研修と校内研修の連携化について

③研修プログラムモデル

資質・能力	研修内容	
	校外研修	校内研修
	必修	選択
教職としての資質 社会人に求められる基礎的な能力 ○求められる資質能力と中堅教諭等への期待 教育公務員の使命と責任	○各主任の職務内容と実務 ・教務主任 ・生徒指導主任 ・進路指導主任 ・研究主任 ・教科等主任 ・学生主任 ・保健主事 等	○校内における主任の職務内容と実務
教職の実践 学習指導と評価の力	○今、求められる教科等の指導と評価	○カリキュラム・マネジメント ○教科指導の充実 ○特別支援教育の充実 ○進路の充実 ○特別活動の充実 ○学力向上 ○ALの育成 ○豊かな心の育成 ○ICTの活用 等
児童生徒指導と集団づくりの力	○今、求められる生徒指導	○人間関係づくり ○不登校への対応 ○いじめ等への対応 等
チーム学校を支えるマネジメント力	○チーム学校を推進するミドルリーダー	○保護者との信頼関係 ○人材育成とコーチング ○危機管理 ○半年経営 等
		○自校の生徒指導上の課題と積極的な対応 ○若年教員の育成 ○危機管理 ○地域・社会との連携

②研修対象者及び研修目的の明確化



上記の各研修を単位化し、多様な教員研修との互換を図る

今後の課題

◆効果的・効率的な研修の展開を大学としてサポートするために

- キャリアアップの足跡としての研修履歴の整備と実務能力の面からの研修評価方法の確立
- OJT研修を促進するWEBを活用した研修コンテンツの整備